



ピクニック緑地

豊かな自然は 豊かな心を育む ファミリースポットともち

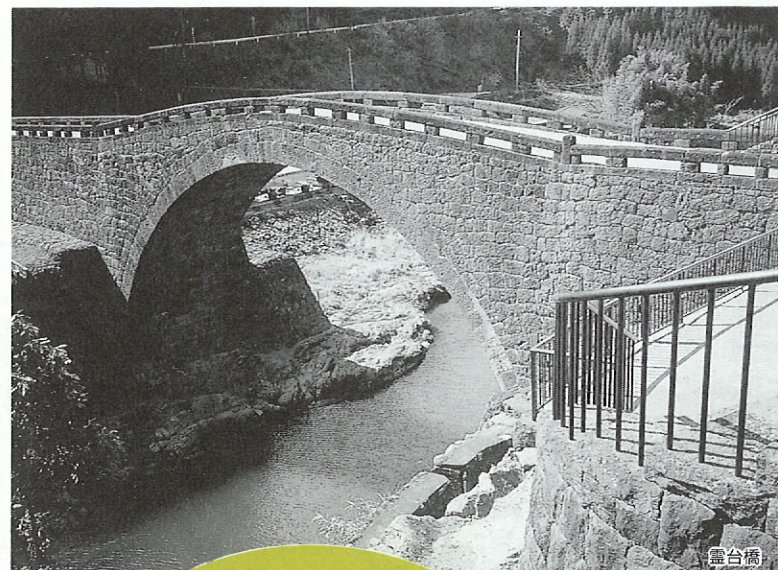


ケビン

熊本市から車を走らせること五十分、国道二一八号が横断するこの砥用町は、「石橋と山と湖の里」と呼ばれるように、自然と歴史の調和した町です。

石橋といえば、何といても国の重要文化財「壺台橋」でしょう。緑川に架かるこの橋は、単一アーチ橋としては日本一を誇っています。特に、橋の下からの眺めは雄大で、しかも荘厳なたたずまいをみせています。この他にも、雄龜滝橋・馬門橋・大窪橋・舞鹿野田橋・西の鶴橋・阿芹場橋など、大小二八基あまりの石橋を有する砥用町は、まさに石橋の宝庫といっても過言ではないでしょう。

近年、緑川ダムのおもしろさを生かし、山と湖のコントラストを引き出そうと、その一帯に家族旅行村が整備されました。ここには、キャンプ場・ケビン・ピクニック緑地・プール・ヨットハーバー・テニスコート・屋内ゲートボール場・体育館・運動場などがあります。家族や団体が気軽に立ち寄り、自然をおもいきりエンジョイできるリゾート基地です。今後も家族旅行村のエリア内には、ミニチュアの石橋を使った石橋公園や、石橋資料館などの建設も予定されており、子供から大人まで十分楽しんでいただける施設づくりを目指しています。



壺台橋

このように、砥用町は自然と歴史の調和した観光地づくり、人の心を育むことのできる町づくりに取り組んでいます。

「砥用に来れば時間は止まり、あなたはもう体験ゾーン三六〇度」
百聞は一見にしかず！一度足を運んでみてはいかがでしょう。あなたのお越しを心よりお待ちしております。

詳しくは、役場（林務観光課） ☎0964-471111 内線17120番 までお問合せ下さい。

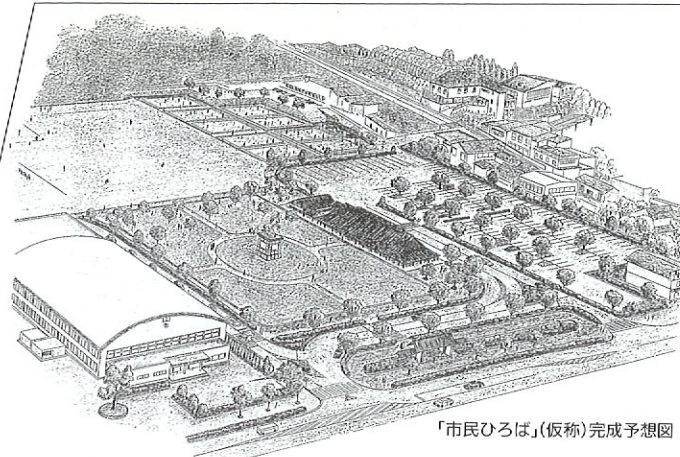


緑川ダム

総面積 102.32 km²
総人口 8,680人
特産品 メロン、栗、米、干柿、しいたけ、竹の子、茶

ともち 砥用町

くまもと 北から 南から



「市民ひろば」(仮称)完成予想図

花と緑と清流に囲まれた菊池市は、熊本市から北東へ車で四十分。菊池街道と呼ばれる国道三八七号を走り抜けると、のどかな田園風景のたたずまいの中に、小京都とも呼ばれる城下町が広がっています。

ここが、動乱期の南北朝期を中心に二十四代、四百六十年余りにわたり、九州きつての強豪武士団として活躍した菊池一族のまちなのです。

今、市ではふるさと創生資金を活用した「市民ひろば」(仮称)を建設しています。市街地の東側に位置したグラウンド「帯を」ふるさとに心を寄せる「ことのできるひろば」を目指し、市の顔となるシンボル像に十五代武光公の銅像を配し、歴史や特産品の発信源となる、ふるさと物産館などを整備するものです。

周辺一帯は菊池公園と呼ばれ、中世

菊池市

総面積 182.60 km²
総人口 28,167人
特産品 米、メロン、ごぼう、カスミソウ、くり、しいたけ(204号)、富有柿、無袋梨、松風(菓子)

中世菊池一族の 城下町に新名所



菊人形まつり



菊池溪谷

の菊池一族が長きにわたり居を構えたところで、一族を祀る菊池神社をはじめ、今でも歴史の豊かさを偲ばせる文化財・史跡等が多く点在し、桜やつつじの花の名所としてその名を轟かせています。

その公園の裾野に湧き出る菊池温泉は湯量が豊富で、乙女の肌を思わせる柔らかい泉質としての折り紙がつけられ、旅情豊かな温泉街があなたのおいでをお待ちしています。また、菊池川の源をなす菊池溪谷は「日本名水百選」にも選定され、うっ蒼とした原生林は夏の青葉、秋の紅葉と四季を通して自然の美しさを奏でてくれます。

大自然と出湯の里、そして古く新しい観光都市「きくち」の息吹きを皆様にお届けします。